

kotonoha

we design your home and life style. impression for life, to you.

TAKE
FREE



VOL.18

色のしつらい。

季節の移ろいをものに託して部屋を調える「しつらい」。
その真髄を色に見つけました。

王朝文化の華やかなりし平安時代、貴族たちの屋敷には、いわゆる部屋がありませんでした。壁のない大きな空間を屏風や御簾で仕切り、調度品を置いて、生活の場としていたのです。ハレの日には調度品を入れ替え、儀式の場をつくりました。その空間づくりを「しつらい」といいます。

やがて、空間の衣替えである「しつらい替え」が習慣化しました。京都では「建具替え」と呼ばれ、町家の建具や敷物、装飾を夏と冬で替える風習がいまに伝わっています。しかし、現代の家の造りでは、ドアや窓はそうそう替えられません。壁の取り替えは言うまでもなく、家具の移動もなかなか難しいもの。それならば、色を使ったしつらい替えはいかがでしょうか。

日本では古より、色で四季を表してきました。その最たるものが、十二単などの装束です。草木の芽吹く春、陽光のきらめく夏、実りの秋、凍える冬を色に託して、装ってきました。これはそのまま、いまの暮らしに取り入れられます。季節の変わり目に、ファブリックやインテリア雑貨、切り花やドライフラワーなどの植物の色を変えてみましょう。色づかいだけで部屋の表情はがらりと変わり、季節の移ろいを感じられるはずです。

外国にも、しつらいと似た風習があります。たとえば欧米では、クリスマスにツリーや伝統的なオーナメント、プレゼント（イエス・キリストの誕生を表した模型）で部屋を飾ります。文化や風土にあわせた空間づくりは、世界各地で脈々と受け継がれているのです。そこには、現代の住まいにふさわしい「色のしつらい」のお手本がありました。

WINTER

色の
しつらい。

2020

HOME SWEET HOME



Advice for Life Vol.1

暮らしを彩る色

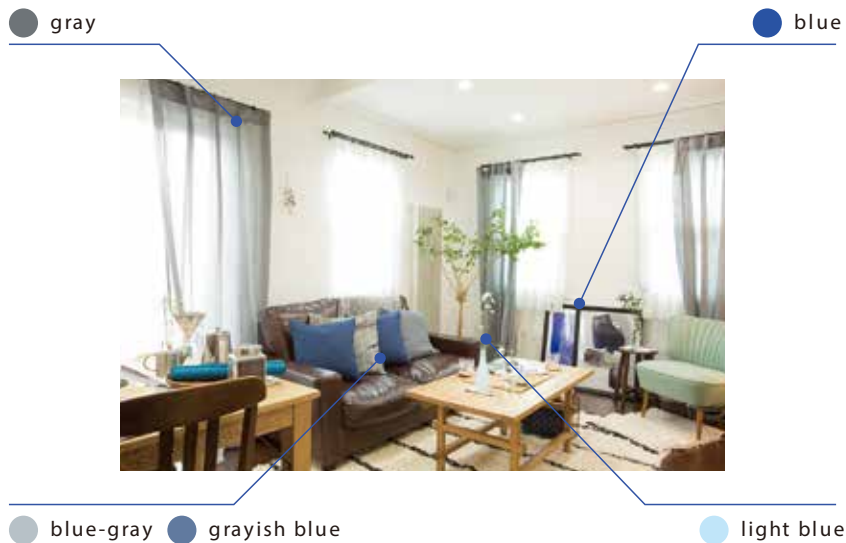


北欧の冬は、長く暗い。わずかな陽光を家の中へと採り入れて、心地よく暮らす知恵と工夫が、北欧インテリアとなりました。

その色づかいは、雪に閉ざされる北海道の冬のしつらいのヒントになるはずです。

SCENE 1 : SUMMER

朗らかな夏のランチ



ブルーを差し色に、涼やかにまとめる

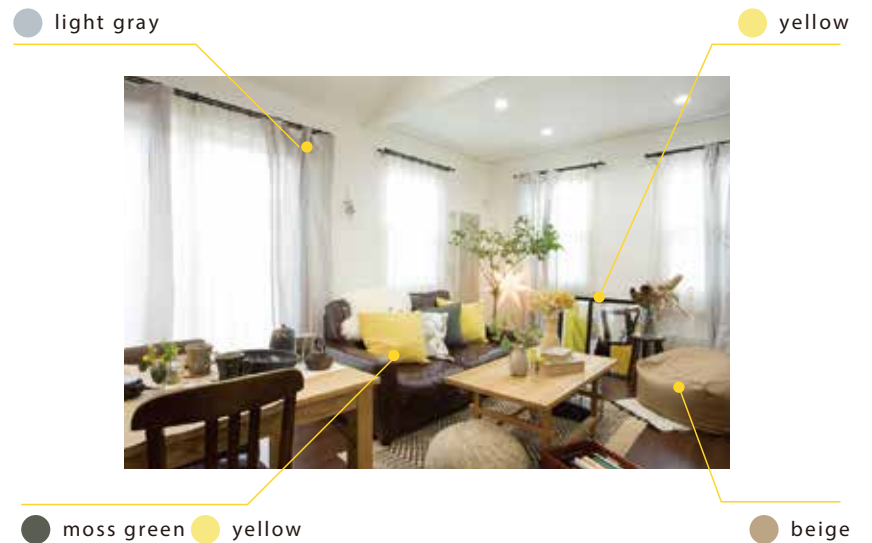
太陽が燦々と降り注ぐ夏、いつもよりも遅い朝食をとる日曜日——。リビング・ダイニングのしつらいは、基調色のグレーにブルーを添えました。クッションやランチョンマット、アートポスター、ガラスの花瓶に生けたデルフィニウムの青が、空間に清涼感をもたらしています。

色に温度はありません。しかし、色から温度は感じられます。これは色の心理効果の一つで、暖色と寒色では体感温度に3℃の差があるの

だとか。ブルー系の寒色を見ると涼しくなるのは、気のせいではないのです。色の温度感を上手に使うと、大掛かりなしつらい替えをしなくても、季節感のある空間が出来ます。コーディネートポイントは、カーテンやラグ、クッションカバーなどのファブリック、額装した絵画やポスターなどのインテリア小物、生花やドライフラワーなどの植物に、季節を連想させる色を選ぶことです。

SCENE 2 : WINTER

穏やかな冬の午後のお茶会



黄色に託して、冬の太陽を部屋に招き入れる

しんと雪の降り続く冬、アフタヌーンティーを楽しむ。——リビング・ダイニングは、見るからに暖かそうな冬のしつらいになりました。基調色のベージュに黄色が効いています。

「差し色の黄色は、冬の太陽をイメージしました」と、建築士の森山操。太陽を室内に採り入れる発想は、北欧インテリアにならったもの。北欧は日照時間が短く、室内が薄暗くなってしまいます。そこで、窓を大きくして

採光し、白を基調として部屋を明るく見せて、照明の光やファブリックの色で彩るのです。「陽光をより多く採り入れられるように、冬こそ、白い薄手のカーテンにするべき」と、森山は考えています。「暖かさは、素材の質感からも感じられるもの」といい、カーテンを白にしても、ワッフル生地のクッションやもふもふのラグをコーディネートすると、冬の部屋になるのです。



After the interview

-取材を終えてひとこと-

今回の撮影場所はYさま邸(築3年、インターデコハウス)。家のあちこちに季節の花をさりげなく飾り、センスよくファブリックを使い、とても丁寧に暮らしていらっしゃいます。人の住まない家は、ただの器。Yさまの暮らしが、いい家に育ててくれました。[森山 操]



column

vol.01

Personal color.



洋服もメイクも 〈私の色〉で装う

黒を着こなせる人はほとんどいない。カラーコーディネーターの今村さんによると、生来の髪・瞳・肌の色に調和するパーソナルカラーには〈春〉〈夏〉〈秋〉〈冬〉の4タイプがあり、黒が似合うのは〈冬〉の人だけなのだという。また、同じピンクでも鮮やかな色とくすんだ色では相性が異なる。しかし、似合わない色は避けなくていい。顔まわりに使わない、アクセサリーと組み合わせるなど工夫すれば、どんな色も身につけられる。パーソナルカラーは、日々の自分と暮らしを輝かせる術なのだ。

一級色彩コーディネーター

今村 美香

Imamura Mika

ファッション・ウエディング・インテリアなどのカラーコーディネートを手がける。服は紺、口紅はレッド系が、使いこなしやすい色だという。色の心理効果を生活に取り入れることを広めるべく、セミナーや講演活動も。「パーソナルカラー診断」は90分15000円(2名〜)

<https://mauve-color.com>



ピアスワークスの家コミュニティ

beus club



friend 001 _ グリーンの家

今回は、beus clubの新しいメンバーとなったオーナーさまを訪ねました。

カバードポーチが印象的な平屋です。

point 01

オーナーさまの夢が カバードポーチに

オーナーさまとピアスワークスの出会いは、見学会です。会場の平屋が気に入ったといい、トントン拍子に家づくりが進みました。ウッドデッキがほしいとのこと希望でデザインしたのが、カバードポーチです。これは、アーリーアメリカンや西海岸スタイルの住宅では定番の屋根付きテラス。屋根が、雨や雪、強すぎる日差しを避けてくれるから、屋外ながら家の中のように使えます。使いかたは思いのまま。どんなふうにご過ごそうか、何を飾ろうかと、オーナーさまの夢はふくらみます。



point 02

天窓のある高い天井と ゆとりの間取り

オーナーさまの譲れない条件が、「平屋」「寝室8帖」「洋室6帖」。これを満たし、広々と明るいきらびを実現するために、天井を高くしました。天窓から陽光が降り注ぎ、化粧梁がアクセントになり、開放的な空間をつくりだしています。

平屋の魅力は、コンパクトな生活動線。玄関・寝室・LDK・洗面室・浴室は、回遊できるように配置して、快適さを高めました。

部屋を広く取りながら、収納も充実しています。シューズクローゼット、寝室のウォークインクローゼット、パントリーのほか、小屋裏収納があり、季節モノや大きなモノの収納に困りません。



① カバードポーチ：いろいろな使い方ができるカバードポーチ。ガーデンテーブル&チェアやソファを置けば、カフェのテラス席のような空間に。観葉植物や寄せ植えを飾れば、玄関まわりが華やかになる ② 天井+化粧梁：天井のクロスは、木目のデザインを生かすためにグレーを選んだ。床と同じミディアムブラウンの化粧梁との相性もいい ③ トイレの手洗い：トイレの中には独立した洗面台を設けた。ランタン型のモザイクタイル「コラベル」と、レトロな趣の水栓が空間を彩る ④ 洗面室：キッチンからも浴室・脱衣所からもアクセスできる洗面所。脱衣所との間に設置したロールスクリーンで仕切ると、来客時にもプライバシーを守る

1

2

3

4

house data

商品ブランド：注文住宅 [ピアスワークスオリジナルデザイン]

間取り：平屋 / 2LDK + 小屋裏収納

竣工：2020年10月



HELLO! HAKODATE!

函館の街でちょっと寄りみち。



集いの場、出会いの場

3valley

料理の隠し味は「らしさ」

湯の川温泉から近い漁火通りに、2020年1月、「3valley(スリーヴァレイ)」がオープンした。地元客でにぎわい、すでにリピーターも多い。

ラーメン店 maido の系列店だが、看板メニューは「ピザ」と「ウドウン」。ピザは、外がカリカリ、中はモチモチのナポリ風。オーナーの三谷あゆみさん夫婦が、忙しい仕事の合間をぬい、知人であるピザ職人の店で何年も修業した成果である。ウドウンは、うどんをパスタ風にアレンジしたオリジナル料理。ハレの日のお祝い料理にも使われるうどんをメニューに加え

たかったのだという。

いま人気の「煮込みハンバーグ」。デミグラスソースの隠し味にはハチミツを使う。三谷さんの友人である函館の養蜂家が採蜜したもので季節によって菩提樹やアカシアなど種類は異なる。「私たちらしさを目指した」という店づくりの想いは、メニューにも生きているのだ。

まちに開かれた場として

3valleyの店内に入ると、ピアノが目に入る。飾りではなく、現役のオールドピアノで、スモーキーな音色が人々を魅了してきた。「料理と音楽は相性がいいですね。食事も生演奏も

楽しめる店にしたかったのです」と三谷さん。オープン当初から、ジャズやソウルミュージックのライブを開催している。

もうひとつ目を引くのが、客席にあるアイランドキッチン。ここで料理教室が開かれているのだ。料理を習いにきた人と食事を楽しむ人が、同じ空間にいながら、それぞれに過ごせるのがおもしろい。「思うがままに店を使ってほしい」と三谷さん。その願いどおり、ヨガスクールにも写真館にもギャラリーにもなる。結婚式のパーティにもふさわしい。3valleyは、人々が集い、料理のほかにもさまざまなものとの出会いがあるコミュニティスペースなのである。



A: コンビニをリノベーションした店舗は窓が大きい。夜になると店内の灯りがこぼれ、街を照らす B: 広い店内は入口からトイレまでフラットで、車いすやベビーカーが移動しやすい。あらゆるバリアフリーを目指していて、料理もアレルギーやハラールフード、ビーガンに対応してくれる C: 彩りも美しい「煮込みハンバーグ」。ライス・サラダ・デザート・ドリンク付き1480円。300円増で、デザートにアイス・ケーキ・クリーム・フルーツ盛り合わせにアップグレードできる D: 「デイリープレート」は、ピザとウドウンを楽しめる「ピザプレート」と、「ごはんプレート」がある。どちらもサラダ・デザート・ドリンク付き1280円。300円増でデザートにアップグレードも E: エプロンブランド DRESSSENの3valleyオリジナルエプロン(5800円〜)。Tシャツとスウェットもおしゃれ!

SHOP INFO

3valley

3valley(スリーヴァレイ) 函館市湯浜町9-28 [函館バス「湯浜町」停留所より徒歩1分] ☎ 0138-87-0251

◎ 平日11時30分から15時(L.O. 14時15分)、17時から20時(L.O. 19時) ※土日祝は通し営業 ㊟ 火曜日 ※祝日の場合は昼のみ営業



まだむ・マカロンの
アンティキテへいらっしゃい

please come visit...



今シーズンのおすすめ

ドリンク カフェモカ [510円]

寒いと気が減入るけれど、あたくしの天使ちゃん、カンタ(アメリカンシヨートヘア、2歳)のぬくもりに慰められているわ。愛猫のいるあなたにも、いないあなたにも、「カフェモカ」がおすすめ。エスプレッソのほろ苦さと、ふわふわのフロスマルク&チョコレートシロップのほのかな甘みが、冷えた体と心をあたためてくれるわよ。

クリスマスシーズンのいま、アンティキテはリニューアル前の大セールを開催中。アンティーク家具や照明器具だけではなく、食器や花瓶、キャンドル、写真立て、アクセサリー、アロマ、ハンドクリームなど、店内のあらゆるものがお買い得になっているわ。なんと最大70%オフ! 気になっていた品があれば、チャンスよ。みなさん、ぜひ遊びにいらしてね♡

SHOP INFO

家具・照明・雑貨とカフェくアンティキテ

函館市柏木町1-12 [市電「柏木町」停留所より徒歩5分] ☎ 0138-35-7272

◎ 11時から19時 ㊟ 火曜・水曜

#ビアスワークスNow.



Norm Core House

モデルハウス完成
来場予約受付中

函館 葛屋書店から徒歩すぐ、桔梗町の分譲地に新しいモデルハウスが完成しました。ビアスワークスのオリジナル規格住宅ブランド「ノームコアハウス」です。家とガレージをつなぐ土間は、吹き抜けから陽光が降り注ぐ心地よい空間。いつも愛車が眺められ、車好きは至福のときを過ごせるでしょう。

ブランドコンセプト「Change your life」が示すように、ノームコアハウスは人生を変えられる家です。大切なのは、暮らしをどう楽しむか。住む人の思いと工夫で、どんな暮らしも実現できるはず。大好きな家が、ご機嫌に暮らしたいものですよね。見学は、お気軽にお問い合わせを。ただいま、ビアスワークスのオーナーさま向け「お友だち紹介キャンペーン」を実施中です。ご友人とお誘いあわせのうえ、ぜひお立ち寄りください。

ビアスワークスの家オーナーさま限定

お友だち紹介
キャンペーン

新築予定のご友人を紹介してくださったオーナーさまに10万円分の商品券をプレゼント! ご成約となったご友人にも10万円分の商品券をお贈りします。

PUBLISHED
BY



株式会社ビアスワークス お問い合わせ 0120-56-0188

042-0942 函館市柏木町1-12 T:0138-56-0555 F:0138-56-0777

ORIGINAL BRAND

Norm Core House / b-maison / b.i.v.HOMES

FRANCHISE BRAND

Inter Déco Haus / COZY